

君津中央病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	胆膵疾患における内視鏡的逆行性膵管胆管造影(ERCP)関連手技の診断・治療成績-retrospective study-
当院の研究責任者 (所属)	吉田有 (消化器内科)
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	【研究代表機関】 千葉大学医学部附属病院 消化器内科 研究代表者：講師 大山 広 【共同研究機関】 東千葉メディカルセンター 消化器内科 亀崎秀宏
本研究の目的	<p>現在までの当院で施行した治療成績を解析することで、今後も安全に内視鏡的逆行性膵管胆管造影(ERCP)関連手技を行うための研究です。</p> <p>1976年1月以降の胆膵疾患において内視鏡的逆行性膵管胆管造影(ERCP)関連手技が行われた方の診療録に記載されている、診療情報、治療方法、治療に用いた器具の種類、治療時間、合併症の有無を含めたその後の経過などの記録を調べ、検討します。</p> <p>本研究においては、下記(5.研究組織)に挙げる施設においてデータが収集され、氏名等の個人を識別できる情報を削除したうえで千葉大学医学部附属病院へ情報が集約され、解析がおこなわれます。</p>
調査データの 該当期間	1976年1月1日～2023年12月31日
研究の方法 (対象となる方)	該当期間に当院において内視鏡的逆行性膵管胆管造影(ERCP)関連手技を施行された方
研究の方法 (使用する情報)	診療録に記載されている年齢、性別、ECOGPS(患者の全身状態を日常生活動作のレベルに応じてあらわした指標)、生活歴(飲酒・

	喫煙など）、職業歴、既往歴、併用薬、家族歴等、生化学検査、血液学的検査等の臨床検査結果、画像情報（CT,MRI 等）、胆管・膵管カニューレーション成功率（カニューレーション：細いチューブのような物を入れる）、胆管結石・膵石治療成績、ドレナージ（排液）成績（Stent 開存期間，閉塞率の評価）、内視鏡的逆行性膵管胆管造影（ERCP）関連手技後合併症等
試料・情報の他機関への提供	氏名等の個人を識別できる情報を削除したうえで、研究代表機関である千葉大学医学部附属病院消化器内科に対して情報提供を行います。
個人情報の取扱い	<p>本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院消化器内科および各研究機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。</p> <p>本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。</p> <p>（URL：http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html）</p>
本研究の資金源（利益相反）	本研究は、千葉大学医学部附属病院消化器内科の診療科経費を用いて行います。
お問い合わせ先	<p>【千葉大学医学部附属病院の相談窓口】</p> <p>〒260-8677</p> <p>千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1</p> <p>千葉大学医学部附属病院（病院長：横手 幸太郎）</p> <p>消化器内科 講師 大山 広</p> <p>043（222）7171 内線</p> <p>【当院の連絡先】</p>

	君津中央病院 消化器内科 熊谷純一郎 0438-36-1071 (代表)
備考	